

IBM LOTUS NOTESと SAP® BUSINESS SUITEの連携

IBMとSAPが提供する共同開発ソリューション：
ALLOY™



サマリー

現在、多くの企業がIBM Lotus NotesとSAP®ソフトウェアを併用して、ビジネスを運用しています。こうした企業では、多くの従業員が日常的に使用しているLotus Notesの使いやすく直感的なユーザーインターフェースを高く評価する一方で、SAPソフトウェアが提供する業務データとプロセスへのアクセスを求めています。このようなユーザーのためにSAPとIBMが開発している共同ソフトウェア製品Alloy™は、使い慣れたLotus Notesユーザーインターフェースを介して、SAP Business Suiteの業務アプリケーションを利用できる環境を提供します。

Alloyは、30年以上にわたって最先端のソリューションを提供し、1万3,000社を超える顧客の業務効率の改善をサポートしてきたIBMとSAPによる、初の共同開発製品です。Lotus NotesとSAP Business Suiteの連携機能のより緊密な統合を求める顧客の要求に応じて、業界をリードするSAPとIBMが開発に取り組んでいるこのプロジェクトは、両社のパートナーシップの強化を示すものでもあります。Alloyは、ユーザーが自由に選択できるインターフェースから、SAPの業務プロセスやデータにアクセスできるようにする手段の1つです。また、電子メール、カレンダー機能、連携アプリケーションにおけるエンタープライズ統合機能によってLotus NotesとDominoの利用範囲を広げ、IBMとSAPの顧客に大きな付加価値を提供します。

Alloyは、経営幹部や従業員に対し、それぞれが関連する重要な業務情報への容易なアクセスを提供し、全社的なデータの検索や収集に要する時間の無駄を減らし、企業に新たな可能性を提供します。ほとんどの場合、ユーザーは新たに使い方を学習せずともSAP Business Suiteの必要な機能にアクセスできるようになるため、トレーニングコストも削減できます。ユーザーは、使い慣れたLotus Notesの知識を活かして情報資産にアクセスできるようになります。

顧客のニーズ

企業がタイムリーに、正しい情報に基づく意思決定を行うことで競合他社との差別化を図るには、的確な情報と業務プロセスが必要です。それらの情報は必要なときに迅速に入手できなくてはならず、情報を得るために苦勞してデータを調べ、分析や整理を行っている時間はありません。SAP Business Suiteに必要な情報が保管されていても、それを必要としている人がアクセス方法を知らなければ意味がありません。Alloyを利用するには、Lotus Notesへの習熟と、SAPとIBM両方のソリューションを使用するためのライセンスが必須となります。

トレーニングは、Lotus Notesの既存ユーザーならほぼ必要ありません。Alloyがあれば、SAP Business Suiteの使用方法を習得しなくても、SAPとIBMの革新的なアプローチを活かした機能性によって、トレーニングにかかるコストと時間を削減することができます。



SAPとIBMが計画した
共同ソフトウェア製品
Alloyによって、
ユーザーは使い慣れた
Lotus Notes ユーザー
インターフェースを介して
SAP Business Suite の
業務アプリケーションを
利用できるようになります。

企業は、従業員がそれぞれの業務を行うために必要なすべてのデータとプロセスにアクセスできるようにすると同時に、不要な機能によって混乱が生じないようにする必要があります。そのため、SAPとIBMはAlloyをカスタマイズするための豊富な開発ツールとエンドユーザー設定オプションを提供し、企業とユーザーのニーズに応えられるようにしています。企業は各ユーザーの役割に応じて、特定のSAPソフトウェア機能を提供することができます。

今日のビジネスニーズに対処するには、チームワークとコラボレーションが不可欠であることは周知の事実であり、多くの企業で、Lotus NotesとSAP Business Suiteが採用されているのはそのためです。これらのソリューションは、単独でも企業全体での緊密なコラボレーションを実現するための基盤となります。

しかし、企業はAlloyによって、両方のソリューションを使用し、コラボレーションをさらに高めるチャンスを手に入れることができます。Alloyによって2つのソリューションの機能が統合されることで、すべての従業員が1つの正確な企業情報にアクセスし、それぞれのデスクトップでデータを共有、分析、変換することが可能になります。その結果、どの情報が正しいのか、情報源はどこなのかという議論で無駄な時間を費やすことはなくなります。その代わりに、現状を見極め、十分な情報に基づく意思決定を行うことに時間を使えるようになります。

企業にとって、開発サイクルと導入プロジェクト期間は短いに越したことはありません。そのためIBMとSAPは、必要な条件を満たすことで、企業がAlloyを短期間で導入できるよう取り組んでいます。

導入の条件としては、以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。

- IBM Lotus Notes 8.0.1+
- Domino 8.0.1+
- SAP Business Suite (SAP ERPアプリケーションとSAP NetWeaver® Business Intelligence コンポーネントを含む)

Alloyには、SAP NetWeaver テクノロジープラットフォームのエンタープライズサービス指向アーキテクチャー (SOA) と IBM Lotus Notes/Domino コラボレーションプラットフォームに対して企業が行ってきた投資を活用するという目的もあります。IT部門は、Webサービスを使用したアプリケーションの迅速な構築、業務プロセスとイベントの調整、そして企業情報の管理が可能になります。また、アプリケーションとコンテンツをより迅速かつ高いコスト効率でユーザーに提供することができます。

多くの企業にとって、Alloyのような新しいソフトウェアは、いかに強力なものであってもそれだけでは十分とは言えません。ソフトウェアに付随して、その企業の成功に役立つ豊富な知識を備えたベンダーが提供するサービスが必要なのです。このようなニーズを満たすため、SAP ConsultingとIBM Global Business Services、サードパーティーのシステムインテグレーターは、Alloyの設定、カスタマイズサービスの提供を計画しています。

主な機能

SAPとIBMは、Alloyで、Lotus NotesからSAP Business Suiteの機能にアクセスするための豊富な機能を提供する方針を持っています。SAPとIBMのいずれかから入手できるAlloyに含まれる予定の機能は、現時点では以下のとおりです。

- **出張、休暇、経費レポートなどの日常業務に関する従業員と管理者向けのインタラクティブなシナリオのサポート**：各機能はSAP Business Suiteによって実行されますが、外出中の従業員向けオフライン機能を含め、Lotus Notesからアクセスできます。
- **管理者にとって非常に重要な業務である承認ワークフロー（出張申請の承認など）**：各ワークフローに関連するレポート機能と分析機能も使用できるため、管理者はアクションを起こす際に完全な情報を手に入れることができます。
- **さまざまなSAPアプリケーションレポートへのアクセス**：ユーザーは、臨機応変に個々のレポートを購読、更新、依頼することができます。
- **ユーザーロールと業務シナリオのサポートを拡張/調整/追加し、Lotus NotesとDominoが備える追加のコラボレーション機能を活用するためのツール**
- **英語、フランス語、ドイツ語、日本語のサポート**

活用例

最初のリリースでサポートを予定している出張申請シナリオは、Alloyが日常的な業務プロセスをすべての関係者にとってより効率的なものにすることを示す好例です。

このシナリオでは、従業員がLotus Notesテンプレートで出張申請を登録することによってプロセスが開始されます。申請は、従業員の管理者など、申請の承認責任者に送信されます。申請を承認する前に、管理者はレポートを実行して部門のほかの出張申請と現在までの旅費を照会することができます。これらの処理は、すべて使い慣れたLotus Notes環境で実行できます。照会に続き、管理者は申請を承認または却下することが可能で、その結果が従業員に送信されます。

出張申請を完了するために従業員と管理者が実行すべきアクションは、Lotus Notesクライアントインターフェース上の分かりやすいステップで示されます。SAP Business Suiteに実装されている企業方針に基づき、旅費計算データと日程計画データ、そして承認ワークフロープロセスがユーザーに提供されます。Alloyが、SAPソフトウェアとLotus Notesクライアント、そしてDominoサーバーとの間のデータと業務プロセスの相互連携を管理します。

主なメリット

IBMとSAPのソフトウェアが単独では持てない機能を1つのソリューションに統合するAlloyによって、企業は両社のソフトウェアに対する投資からより大きな利益を得られ、短期間でビジネスメリットを実現することができます。この仕組みを活用して、コストの削減、効率性の向上、重要な経営上の意思決定に必要な情報の把握が実現すれば、企業は市場をリードし、収益の拡大につなげることができます。

Alloyの活用によって、次のようなことが実現できます。

- **トレーニングコストの削減**：使い慣れたLotus Notesユーザーインターフェースを使用してSAP Business Suiteへの直感的なアクセスを実現
- **意思決定の改善**：従業員と管理者に対し、SAPシステム上の重要なデータへのアクセスを簡素化
- **コンプライアンスの改善**：ベストプラクティスの業務プロセスを全社員に拡張することで、業務プロセスと業務の自動化を実現
- **チームワークの改善**：SAPがサポートする業務プロセス、ワークフロー、データを、IBMのコラボレーション機能と統合
- **迅速な導入の実現**：Alloyによって、SAPアプリケーションとLotus Notes/ Domino環境に対する既存の投資を活用することが可能

SAPとIBMは、付加価値とビジネスメリットをもたらすソリューションを提供するために協業していきます。どうぞご期待ください。

Alloyは、ユーザーが自由に選択できるインターフェースから、業務プロセスやデータにアクセスできるようにする手段の1つです。

SAP ジャパン株式会社

本社 〒100-0004

東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル

TEL 03-3273-3333 (代表)

<http://www.sap.com/japan/>

さらに詳しい情報は

Alloyの詳細と、全社的な効率の改善方法、コストの削減方法については、SAPまたはIBMの担当者にご連絡いただくか、以下のWebサイトをご覧ください。

<http://www.sap.com/japan/solutions/alloy/index.epx>

IBMとSAPのソフトウェアが
単独では持てない機能を
1つのソリューションに
統合するAlloyによって、
企業は両社のソフトウェアに
対する投資からより大きな
利益を得られ、短期間で
ビジネスメリットを実現できます。

49009118J (SE/09/01)

©2008 SAP AG. All rights reserved. SAP, R/3, xApps, xApp, SAP NetWeaver, Duet, PartnerEdge, ByDesign, SAP Business ByDesign および本書で引用されているその他のSAP製品およびサービス名は、関連するロゴも含めて、ドイツおよびその他世界各国におけるSAP AGの商標または登録商標です。本書で言及されているその他の製品およびサービス名は、関連するロゴも含めて、それぞれの会社の商標です。本書に記載された情報は参考として提供されています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書の内容は、予告なしに変更されることがあります。また、これらの文書はSAP AGおよびその関連会社(SAPグループ)が情報提供の目的にのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAPグループは文書に関して過失に対する責任を負うものではありません。SAPグループの製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、ここに記載されたものに限られます。本文書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

2009年1月現在、本製品の日本語版は出荷準備中です。

THE BEST-RUN BUSINESSES RUN SAP™

